



### 園児たちが米を収穫

■7月27日、妙見保育園の園児と学童児童約100人が、4月に自分たちで植えた米の収穫をしました。園児たちは、胸のあたりまで成長した稲を懸命に刈り取っていました。



### 今給黎教子さんの愛艇「海連」に乗艇

■7月30日に開催されたミシマカップヨットレースの前日の29日、出発となった枕崎に多くのヨットが集結。今給黎教子さんの愛艇「海連」の乗艇体験もあり、子どもたちは目を輝かせながら見学していました。



### 高齢者とのふれあいグラウンドゴルフ大会

■8月20日、別府小学校で行われました。別府地区の子どもや高齢者など約120人が参加し、子どもたちは打ち方や力加減などを教わりながら高齢者との交流を深めました。



### 人文字づくり

■8月21日、枕崎七夕の会主催で片平山公園グラウンドで行われました。集まった市民約50人が、心ひとつに「結」の文字を作りました。



### 茅野十吉さんが旭日単光章を受章 ～高齢者叙勲

茅野十吉さん(国見町・88)が、高齢者叙勲の旭日単光章を受章しました。8月26日に市役所で伝達式が行われ、神園市長より勲章が伝達されました。

茅野さんは、昭和54年5月に枕崎市議会議員に初当選して以来、3期12年にわたり本市市議会議員として活動を続けました。この間、本市市議会副議長や建設委員会委員長などの要職を歴任し、住民福祉の向上や市勢の発展に尽力されました。

今回の受章について茅野さんは「大変光栄です。皆さんの支援のおかげで、議員活動も頑張ることができました。今後も微力ながら力になれることがあれば、何らかの形で恩返しをしたいと思います」と話していました。



### 鹿児島伝統の遊び「なんこ」を楽しむ ～駅前ナンコ大会

8月21日、枕崎駅前広場で枕崎異業種交流会「結の会」主催による駅前ナンコ大会が行われました。

このイベントは、駅の利用客などに鹿児島の伝統の遊びである「なんこ」を楽しんでもらおうと開催されました。

大会には鹿児島県民ヒーローの「薩摩剣士隼人」と「つんつん」も参加。子どもたちは手作りのなんこを使って薩摩剣士隼人と手合わせをしていました。

このイベントは、「枕崎駅」から始まるまちづくり事業の一環で、今後も枕崎駅前広場を会場に「まくらざき屋台村」や「まくらざき秋の市」、「キャンドルフェスタ」などのイベントが開催される予定です。

### 世界レベルのダンスを学ぶ ～ケント・モリ夏休みスペシャルワークショップ

アメリカを中心に活動するダンスアーティストのケント・モリさんによるワークショップが、8月19日にLCLダンススタジオで開催されました。

3回に分けて実施されたワークショップには、幼児から60歳代まで約150人が参加しました。ケントさんのユーモアを交えながらのレッスンに、参加者は笑顔で踊っていました。

小瀬愛莉さん(別府小4年)は「難しいダンスだったけど、すぐに覚えることができて楽しかったです。ケントさんに教えてもらう機会はなかなかないので、教えてもらえて本当にうれしかったです」と話してくれました。



### 鹿水高カッター部が全国大会5位入賞 ～第18回全国水産・海洋高等学校カッターレース大会

第18回全国水産・海洋高等学校カッターレース大会が、7月23日・24日に青森県八戸市で行われ、鹿児島水産高校カッター部が5位入賞を果たしました。

大会には全国の地区大会を勝ち抜いた16チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

艇長の板敷磨歩くん(情報通信科2年)は「全国制覇は果たせませんでした。ベストを尽くすことができました。達成感でいっぱいです。ここまで来ることができたのも、部員の団結と応援して下さった皆さんのおかげです。練習に協力をいただいている、枕崎漁協や水産関係者の皆さんにもとても感謝しています。本当にありがとうございました」と話してくれました。



### 枕崎市の魅力をたっぷり放送 ～枕崎市ふるさとウィーク

8月1日から7日にかけての1週間、MBC南日本放送のテレビやラジオで枕崎市の魅力を紹介する「枕崎市ふるさとウィーク」が実施されました。

枕崎市ふるさとウィークは「第1回枕崎国際芸術賞展」と「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港まつり」の開催に合わせて実施され、両イベントをテレビとラジオを通じてPRしたほか、市のさまざまな話題や頑張っている市民などが連日登場するなど、枕崎の魅力が盛りだくさんの1週間となりました。



### 枕崎中学校野球部が九州大会に出場 ～第41回九州中学校軟式野球競技大会

第41回九州中学校軟式野球競技大会が、8月8日・9日に宮崎県で行われ、枕崎中学校野球部が出場しました。同部は7月に行われた、第67回県中学校野球大会で準優勝し、県代表として九州大会へ出場。1回戦で長崎県の波佐見中学校と対戦し、2対1で惜しくも敗れましたが、選手たちの懸命のプレーに会場からは大歓声が送られていました。

主将の田畑莉央くん(3年)は「1回戦で負けたのは悔しかったです。僕たちにとって最高の夏の思い出となりました」と話してくれました。